

矢作川流域圏懇談会通信

R4 流域連携 vol.3



発行日：令和4年●月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第9回三河湾大感謝祭に参加しました！

三河湾大感謝祭は、多くの人々に三河湾に関心を持ってもらい、三河湾の環境再生に向けた機運を高めることを目的として、愛知県が主催したイベントです。矢作川流域圏懇談会は、矢作川の情報発信を目的としたクイズの出題と、矢作川に関するアンケート、魚のペーパークラフトの配布を行いました。また、根羽村森林組合による「木でできた弓矢的当て」と「根羽村のスギを使った表札作り」を出展しました。

日程：令和4年10月9日（日） 10：00～16：00

場所：一色さかな広場 特設会場



出展されたブース会場

◆イベントの目的と内容および矢作川流域圏懇談会の参加について

1. 目的とイベントの内容



■目的（チラシ、HPより一部抜粋）

多くの県民の皆様にも三河湾に関心を持っていただくため、西尾市の一色さかな広場特設会場において、「第9回三河湾大感謝祭」を開催します。

■主なイベント内容

- ◇三河湾〇×クイズ
- ◇エコマジシャン・ミヤモさんによるエコマジックショー
- ◇SKE48の須田亜香里さんと竹島水族館の小林館長の三河湾環境トークショー
- ◇セレモニー（主催者・共催者挨拶）



流域圏懇談会のブース

2. 矢作川流域圏懇談会・関係団体等 出展状況

■矢作川流域圏懇談会

～活動紹介と根羽スギを使った遊び～

根羽村森林組合による木製の弓矢的当てと、根羽スギによる表札づくりを出展し、どちらも非常に好評で、表札はすぐに定員オーバーになってしまいました。また、矢作川に関するクイズ出題とアンケート、ペーパークラフトの配布を実施しました。

イベントには28団体（国土交通省、愛知県等含む）が参加しました

■環境ボランティアサークル亀の子隊

～海ごみゼロの活動～

SDGs 14海の豊かさを守る あいちの海は大丈夫か？ 海の大切さ、良さを考えよう！

■愛知県水産試験場

～海の生きものの展示～

水槽に海の生きものを展示するとともに、パネルを用いた海の情報発信を行いました。

■中部ESD拠点協議会

～缶バッジによるSDGs普及啓発～

中部ESD拠点の活動を紹介するパネルや、活動報告書類の展示・配布および缶バッジを使ったSDGsの普及啓発活動を行いました。

■国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所

～三河湾とシーブルー事業の紹介～

他の湾に比べて汚れやすい形状にあるといわれる三河湾の特徴を紹介し、きれいな水質を目指すシーブルー計画の発信を行いました。

■愛知県環境局

～三河湾の藻場・浅場の生きものや動きについて学ぼう！～

パネルや標本を用いた海の生き物の展示を行いました。



弓矢的当ての様子



根羽スギの表札を作る皆さん

3. 三河湾大感謝祭での活動



■矢作川アンケートの結果

前回の矢作川感謝祭に引き続き、今回も矢作川へのアンケートを実施しました。小さなお子さんからご年配の方、近くに住まれている方、遠方からお越しの方など様々な方から、全部で74の意見を伺うことができました。

・あなたにとって矢作川とは？

⇒「地元の川」や「水道水の水源」、「電車で通る川」といった、生活に関わる意見が多くありました。また、「きれいな川」や「豊かな生物の源」という自然にまつわる意見も多く、あるのが当たり前、と捉えられているようです。

・あなたが思う矢作川の魅力とは？

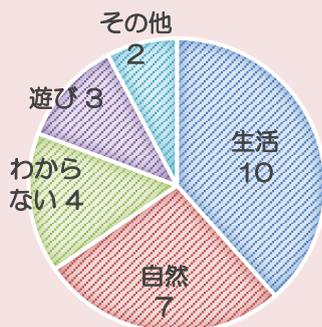
⇒「自然豊かな場所」や「たくさんの生物と出会える」、「シジミ、魚がいる」など自然が豊かという意見のほか、「観光・桜」「キャンプ場」「魚が釣れる」という遊び、レジャーに関する意見が多かったです。「森林と海の連携」や「三河湾のミネラル」という流域圏にかかせないテーマを挙げられる方もおられました。

・あなたが感じる矢作川の心配事とは？

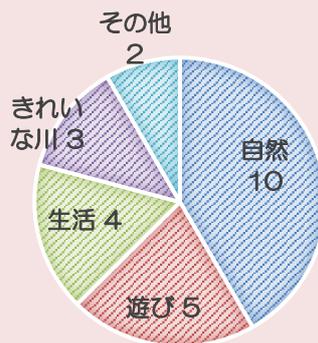
⇒「治水による環境破壊」「汚染」「外来生物」など環境問題を挙げられる方が最も多く、「氾濫」「洪水」という河川氾濫を気にされる方よりもたくさん居られました。「栄養が足りなくなりそうなこと」という比較的最近の話題を挙げられる方もおられました。



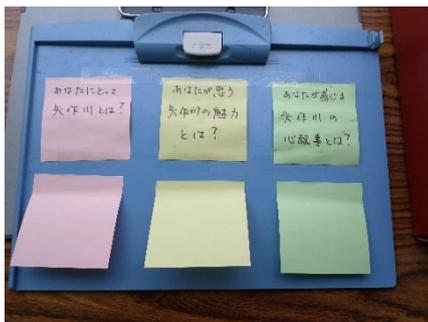
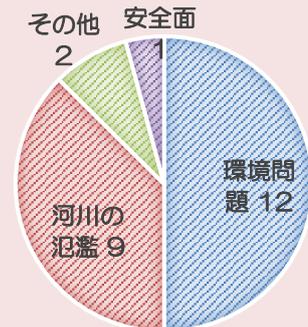
あなたにとって
矢作川とは？



あなたが思う
矢作川の魅力とは？



あなたが感じる
矢作川の心配事とは？



付箋によるアンケート調査



紙工作したアユ



流域圏懇談会ブースの様子

■三河湾大感謝祭を通じて感じた事

- ・矢作川の近くに住み防災について熱心な方、「矢作川は魚取りに来る」という遠方に住む方など、住むところによって川に求めるものが違うことを感じた。
- ・悪天候にもかかわらず多くの市民が見られ、流域や海への関心の高さが伺えた。また、それらの事について学べる場の提供が大切であり、今後ニーズが高まると感じた。

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 山路、建設専門官 宮本、技官 松田

TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8129

*矢作川に関する情報は、豊橋河川事務所までお送りください。

